

会 議 結 果 報 告 書

会 議 名 称	政策会議	
日 時	平成 29 年 8 月 22 日(火) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 35 分	
場 所	市役所本庁舎 3 A会議室	
出席者	出 席	市長、八木副市長、宮村副市長、政策部長、市長公室長、財務部長、都市部長
	事務局	企画課長、課長代理(調整担当) 陪席:秘書課長、課長代理(秘書担当)

議題 1 : 「秦野市都市計画公園・緑地見直し計画」の策定について		
担 当 部 課 等	都市部都市政策課	
説 明 者	都市部長、都市政策課長	
提 案 理 由	付議事案書「目的・必要性」のとおり	
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり	
会 議 経 過 (説明・意見等)	<p>【説明】 資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. 弘法山公園は、都市計画公園の位置づけを見直した場合、自然公園としての位置づけは残るのか。 A. 自然公園の位置づけは残る。</p> <p>Q. この見直し計画策定後、弘法山公園の廃止の手続きを進めることとなるが、いつごろを目途に完了するのか。 A. 廃止の手続きを進めるに当たり、「秦野市緑の基本計画」との整合も必要となる。この計画の見直しと合わせ、3年から5年を目途に都市計画を変更したい。</p> <p>Q. 近隣公園の計画を作るために、この見直しが必要か。 A. 見直しをしないと、近くに総合公園があるのに、なぜ近隣公園が必要なのかという議論になる。</p> <p>Q. 近隣公園に隣接する農道の整備が必要だが、農道を先に整備すると無駄になってしまうか。 A. 都市計画道路と近隣公園の計画を決定してから農道の検討をした方がよい。</p> <p>Q. 2年前の7月に政策会議で都市計画公園としての廃止の方向性を意思決定しているが、今回の計画策定後でもよかったか。 A. クリーンセンター建設に当たり、近隣公園の位置づけを明確にして地元の説明する必要があった。</p> <p>Q. 今回の見直し計画が今後ハードルになることはないか。 A. この計画が足かせになることはない。</p> <p>Q. 地権者への影響はどうか。</p>	

	<p>A. 自然公園としての位置づけは残るため、地権者への影響はほとんどない。変更手続きの中で、地権者への説明を行っていく。</p> <p>Q. 弘法山公園の廃止の手続きが終わらないと近隣公園の新規決定の手続きはできないか。</p> <p>A. 同時に調整を図っていく。</p>
会議結果	原案了承

議題2：上幼稚園の旧園舎を「訪問型個別支援事業」の拠点として活用することについて

担当部課等	教育部教育総務課、教育研究所
説明者	教育長、教育部長、教育総務課長、課長代理（庶務担当）、教育研究所長
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p>【説明】 資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. 施設整備に係る新たな予算措置は必要ないか。</p> <p>A. 施設をそのまま活用するため、現時点で新たな予算措置は考えていない。</p> <p>Q. 園舎を全て活用するのか。</p> <p>A. 1階の2教室と職員室の使用を考えている。</p> <p>Q. 文科省の補助金を活用するようだが、どのような内容か。</p> <p>A. インクルーシブ教育の推進のための、教育支援体制整備事業に関する補助制度があり、今回の事業の支援者に対する謝礼等が補助対象となる。次年度は補助対象経費が拡大される可能性もある。</p> <p>Q. 2階部分は他に活用できるか。</p> <p>A. 他の人が出入りすることで、事業の効果が得られないことが考えられるため、全体を教育財産として考えてほしい。</p> <p>(意見) 交通手段として、かみちゃん号を無料で使えるよう公共交通推進課と相談してほしい。</p>
会議結果	原案了承

議題3：大根幼稚園を大根小学校の施設に一体化させることについて

担当部課等	教育部教育総務課
説明者	教育長、教育部長、教育総務課長、課長代理（庶務担当）
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり

<p>会議経過 (説明・意見等)</p>	<p>【説明】 資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. 多くの園で園児数が減少している中、大根幼稚園の一体化に取り組む理由は何か。</p> <p>A. 大根幼稚園では、今年度、年少・年長とも1学級となっている。他の園でも園児数が減少しているが、年少・年長とも1学級という状況ではなく、今後の推計をみると、大根地区の幼児数がより減少することが想定されるためである。</p> <p>Q. 一体化のメリットは何か。</p> <p>A. 小1プロブレムの解消につながるとともに、給食が提供できる。園庭は狭くなるが、中学校の協力も得ながら、スペースを確保したい。</p> <p>財政面では、土地の賃借料のほか、施設維持費が不要となる。一体化に伴い、小学校の施設改修費が約1億1千万円程度必要になると見込まれるが、詳細を詰める中で、節減に努めたい。</p> <p>また、これまで取り組んできた幼小中一貫教育をさらに推進していく。</p> <p>Q. 一体化の時期はいつ頃を考えているか。</p> <p>A. 平成31年10月頃を考えている。</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秦野精華園の新設が大根中学校の隣に計画されているが、将来の幼小中一体の施設の絵も考えてほしい。
<p>会議結果</p>	<p>原案了承</p>

—以上—